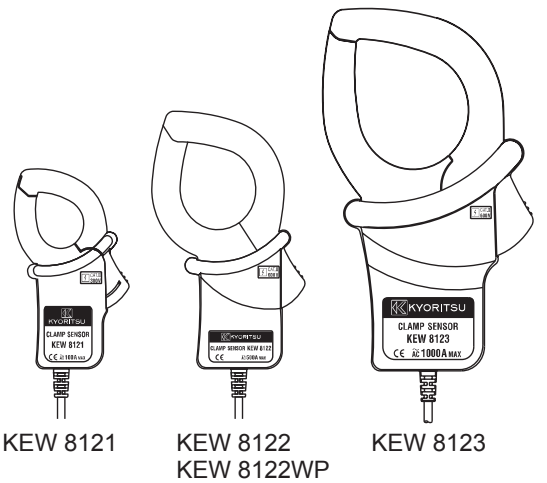


取扱説明書



クランプセンサ

クランプセンサ シリーズ KEW 8121/8122/8122WP/8123

共立電気計器株式会社

保証書

型 名	KEW 8121/8122/8122WP/8123	製造番号
保証期間	ご購入日(年 月 日)より1ヵ年間	

共立製品をお買い上げいただきありがとうございます。保証期間内に通常のお取り扱いで万一故障が生じた場合は、保証規定により無償で修理いたします。
本書を添付の上、ご依頼ください。

お名前

ご住所 〒

お電話番号 () - () - ()

◎保証規定をよくお読みください。
◎本保証書は日本国内でのみ有効です。
◎本保証書の再発行はいたしかねますので、大切に保管してください。

販売店名

共立電気計器株式会社
本 社 〒152-0031 東京都目黒区中根 2-5-20
東京営業所 ☎03(3723)7021 FAX: 03(3723)9199
大阪営業所 〒564-0052 吹田市豊永町 3-16-3 江坂三昌ビル 6F
☎06(6337)8648 FAX: 06(6337)8590
名古屋営業所 〒461-0004 名古屋市東区葵 1-12-1 オフィス布池 3F
☎052(939)2861 FAX: 052(939)2862
仙台営業所 〒983-0852 仙台市泉城野区南町 1-6-37 TM 仙台ビル 3F
☎022(297)9671 FAX: 022(298)8009
サービスセンター 〒797-0045 愛媛県西予市宇和町坂戸 480
☎0894(62)1172 FAX: 0894(62)5531
工 場 愛媛

www.kew-ltd.co.jp

1. 使用上の注意（安全に関する注意）

○本製品はIEC 61010「電子測定装置に関する安全規格に準拠して、設計・製造の上、検査合格をした最良の状態にて出荷されています。この取扱説明書には、使用される方の危険を避けるための事項および本製品を損傷させずに長期間良好な状態で使用していただくための事項が書かれていますので、お使いになる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

△ 警告

- 本製品を使用する前に、必ずこの取扱説明書をよく読んで理解してください。
 - この取扱説明書は、手近な所に大切に保管し、必要なときにいつでも取り出せるようにしてください。
 - 製品本来の使用法および取扱説明書で指定した使用法を守ってください。
 - 本書の安全に関する指示に対しては、指示内容を理解の上、必ず守ってください。
- 以上の指示を必ず厳守してください。指示に従わないと、怪我や事故の恐れがあります。

○本製品に表示の △ マークは、安全に使用するため取扱説明書を読む必要性を表わしています。尚、このマークには次の3種類がありますので、それぞれの内容に注意してお読みください。

- △ 危険：この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険性が高い内容を示しています。
- △ 警告：この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- △ 注意：この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

△ 危険

- KEW 8121はAC300V以上、KEW 8122/8122WP/8123はAC600V以上対地電位のある回路では、絶対に使用しないでください。
- 雷が鳴っているときは絶対に使用しないでください。また、使用中であってもただちに測定を中止して、本製品を被測定物から外してください。
- 引火性のガスがある場所で測定しないでください。火花が出て爆発する危険があります。
- 被測定物やその周辺を触ると感電が想定される場所での測定には、絶縁保護具を着用してください。
- トランスコア先端部は被測定物をショートしないような構造になっていますが、絶縁されていない導線を測定する場合トランスコアで被測定物をショートしないよう注意してください。
- 本製品や手が濡れている状態で、絶対に使用しないでください。また、KEW 8122WPの出力端子は、防塵防滴仕様になっておりませんので、絶対に濡らさないでください。
- 測定の際には測定範囲を越える入力を加えないでください。

△ 警告

- 本製品を使用しているうちに、本体に亀裂が生じたり金属部分が露出したときは使用を中止してください。
- 本製品の分解、改造、代用部品の取付けは行わないでください。修理・調整が必要な場合は、弊社または販売店宛にお送りください。
- 測定中にバリアより上側に触れないでください。感電する可能性があります。

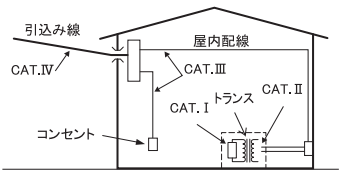
△ 注意

- コードの被覆を損傷させないよう、踏んだり挟んだりしないでください。
- 出力端子を抜き差しするときは、測定導体をクランプしない状態で行ってください。故障の原因となります。
- 高温多湿、結露するような場所および直射日光の当たる場所に本製品を放置しないでください。
- 本製品の運搬、取扱いに際しては、振動や落下等の衝撃を避け、本製品が損傷しないよう注意してください。
- クリーニングには、研磨剤や有機溶剤を使用しないで中性洗剤か水に浸した布を使用してください。

安全記号	
	人体および機器を保護するため、取扱説明書を参照する必要があります。
	二重絶縁または強化絶縁で保護されている機器を示します。
	隣接表示の測定カテゴリに対する回路－大地間電圧以下であれば活線状態の裸導線をクランプできる設計であることを示しています
	交流（AC）を示します。

○測定カテゴリ（過電圧カテゴリ）について安全規格IEC 61010では測定器の使用場所についての安全レベルを測定カテゴリという言葉で規定し、以下のようにCAT. I ～CAT. IV の分類をしています。この数値が大きいほど過渡的なインパルスが大きい電気環境であることを意味します。CAT. III で設計された測定器はCAT. II で設計されたものより高いインパルスに耐えることができます。

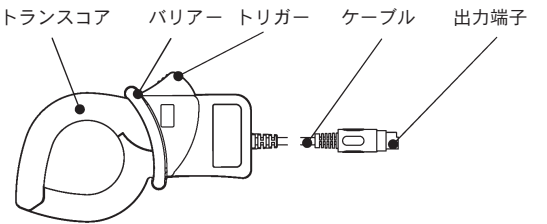
- CAT. I コンセントからトランスなどを経由した2次側の電気回路
- CAT. II コンセントに接続する電源コード付機器の1次側の電気回路
- CAT. III 直接配電盤から電気を取込む機器の1次側および分岐部からコンセントまでの回路
- CAT. IV 引込み線から電力量計および1次過電流保護装置（配電盤）までの回路



2. 特 長

- 本製品は、記録計用のクランプセンサです。
- 安全規格 IEC 61010-2-032（汚染度2）に適合した安全設計です。KEW 8121 CAT. III 300V KEW 8122/8122WP/8123 CAT. III 600V
- 防塵防滴 IEC 60529 IP54に準拠。悪天候下での測定も可能です。（KEW 8122WPのみ）

3. 各部の名称



4. DINプラグピン配置

- 3 GNDピン
 - 5 出力信号ピン
 - 6 センサ認識信号ピン
- （3ピンと6ピン間の抵抗値は8121:62k Ω 8122/8122WP:11k Ω 8123:24k Ω）
- 1, 2, 4ピンは使用しません。
- ※上図は出力端子部からクランプセンサを見たピン配置図です。接続端子側のピン配置図は、上図とは左右対称になりますのでご注意ください。

5. 測定方法

△ 注意

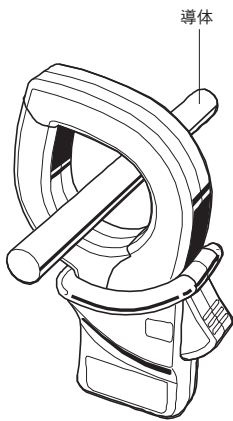
- 感電の危険を避けるためKEW 8121はAC300V以上、KEW 8122/8122WP/8123はAC600V以上対地電位のある回路での測定は、絶対にしないでください。
- トランスコア先端部は被測定物をショートしないような構造になっていますが、絶縁されていない導線を測定する場合トランスコアで被測定物をショートしないよう注意してください。

△ 注意

- トランスコア先端部は、高精度を得るため、精巧に調整されていますので、取扱の際は、衝撃、振動や無理な力が加わらないよう十分に注意してください。
- トランスコア先端に異物がはさまったり、無理な力が加わったりしてかみ合わせがずれたような場合には、コアが閉じにくくなりますが、この場合急激にトリガーをはずしたり外から押すなどして無理に閉じようとせず、異物を取り除いてトリガーのバネの力で自然に閉じるようにしてください。
- トランスコアが氷結している場合、無理にコアを開かないでください。
- 被測定可能導体径は下記の通りです。大きい導体をクランプしトランスコアが完全に閉じてない状態では正確な測定ができません。KEW 8121 : 最大φ24mm KEW 8122/8122WP : 最大φ40mm KEW 8123 : 最大φ55mm
- 出力端子を測定器本体から抜く場合、断線防止のため差込部分（ケーブル以外）を持って抜いてください。

測定方法

- (1) 出力端子を測定器の入力端子に接続してください。
- (2) トリガーを押しトランスコアを開き、被測定導体1本をクランプしてください。その場合、測定する導体がトランスコア内の中央になるような位置で測定してください。
- (3) トランスコア先端の嵌合部が確実に閉じていることを確認してください。



保証規定

保証期間中に生じた故障は、以下の場合を除き無償で修理いたします。

1. 取扱説明書によらない不適切な取扱い、使用方法、保管方法が原因で生じた故障
2. お買上げ後の持ち運びや輸送の間に、落下させるなど異常な衝撃が加わって生じた故障
3. 弊社のサービス担当者以外の改造、修理、オーバーホールが原因で生じた故障
4. 火災、地震、水害、公害及びその他の天変地異が原因で生じた故障
5. 傷など外観上の変化
6. その他弊社の責任とみなされない故障
7. 電池など消耗品の交換、補充
8. 保証書の提出がない場合

◎ご注意

弊社で故障状態の確認をさせていただき、上記に該当する場合は有償とさせていただきます。
輸送中に損傷が生じないように梱包を施し、弊社サービスセンターまたは販売店宛にお送り下さい。

年 月 日	修 理 内 容	担当者

●修理について●

輸送中に破損しないよう、充分な梱包を施して下記サービスセンターまたは販売店までお送りください。

〒797-0045 愛媛県西予市宇和町坂戸480
共立電気計器株式会社サービスセンター
TEL 0894-62-1172
FAX 0894-62-5531

この説明書に記載されている事項を断り無く変更する事がありますのでご了承ください。